

新年のご挨拶

対馬市長 松村良幸



新年あけましておめでとう
ございます。市民の皆様にお
かれましては、輝かしい希望
に満ちた新春をお迎えのこと
と心からお慶び申し上げます。

旧年中は市政各般にわたり、
ひとかたならぬご支援・ご協
力を賜り厚くお礼を申し上げ
ます。

昨年3月1日に、平成の大
合併の名のもと、県下第1号
の合併として誕生した「対馬
市」も早いもので10ヶ月が過
ぎました。合併に寄せる市民
の皆様の大きな夢と期待を背
負いつつ、業務の移行等に不
安を抱えながらの船出であり
ましたが、皆様のご理解とご
協力に支えられ、新しい年を
迎えることができました。

私も市長として初めての年
明けとなるわけですが、市民
皆様の声を耳にするたび、そ
の厳しい現状に使命と責務の
重大さをひしひしと感じると

ともに、市の将来を十分見極
めながら、確かな、間違いの
ない舵取りをしていかなけれ
ばならないと心を新たに致し
ております。

今、私たちは激動と変化の
大きな時代のうねりの真っ只
中にあります。半世紀余りを
支えてきたこれまでの社会の
仕組みが音を立てて崩れ始め、
十分に機能しなくなっており、
新たなシステムの構築に向け
て日本の国全体が苦悩しつづ
も、大きな変貌を遂げようと
しています。これらは、あら
ゆる面での改革を求める時代
の幕開けであり、社会の変化
だけでなく、私たちの価値観
意識そのものの大転換を迫る
ものでもあります。従来の意
識や経緯にこだわることなく、
柔軟でしたたかな対応が何よ
りも必要なときではないかと
思われます。

合併に対する国・県の支援

措置があるとはいえ、財政状
況が直ちに好転するわけでは
なく、引き続き行財政改革を推
進しながら合併の効果を確実
なものとしていかなければな
りません。長引く構造不況、
地方分権に伴う三位一体の改
革、少子高齢化、情報の共有
化など、難問山積みではあり
ますが、各施策にさらなる創
意工夫をこらし、それぞれの
重要課題に取捨選択を図りな
がら新市の基礎作り而努力し
てまいりたいと存じます。

対馬市では、地理的、歴史
的背景に基づき「アジアに発
信する歴史海道都市」を将来
像として掲げており、新市建
設計画においても、旧6町の
持つ豊かな自然や歴史・文化
を生かしつつ、新市の一体感
を醸し出すため様々な施策を
掲げています。

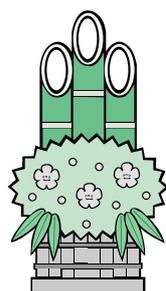
なかでも、情報の共有をめ
ざした多元情報システムC A

T V、市道・漁港をはじめと
する産業基盤整備等の重要課
題に積極的に取り組んでまい
ります。

また、雇用の促進としてホ
テル等の企業誘致、コンポス
ト工場（100人規模）の誘
致、さらに、海洋温度差発電
施設の誘致や国際交流の推進
なども並行して進めながら、
定住人口及び交流人口の増加
を目指したいと思えます。そ
して、青少年が未来に対して
夢や希望のもてる施策のひと
つとして「夢の市民球団づく
り」等に取り組んでまいりま
す。

豊かな大自然や歴史的遺産
など、対馬ならではの貴重な
資源を生かし、他に類を見な
い個性豊かな「オンリーワ
ン」の島づくりに邁進してい
きたいと考えています。

皆様方には、今後ともなお
一層のご支援、ご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。
そして、新しい年が皆様にと
りまして幸多い年であります
ようご祈念申し上げ、新年の
ご挨拶とさせていただきます。



市長の動き

《12月》

- 1～3日「離島予算関係予算
確保の要望活動・漁港
関係予算について要望
活動」（東京）
- 7～10日「第4回対馬市議会
定例会（本会議）」



- 13～14日「県漁港協会臨時総
会・県水産開発協会臨時
総会」（長崎）
- 15日「佐須地区区長会来庁
時総会」（長崎）
- 16日「第4回対馬市議会定例
会（本会議）」

新年のご挨拶

対馬市議会議長 平間利光



明けましておめでとございます。
西暦2005年の年頭にあり謹んで市民の皆様にご挨拶申し上げます。

市民の皆様には、ご健勝にて輝かしい新春を迎えられた事とお喜び申し上げます。
変革の時代を先取りするため『対馬は一つ』という認識のもとに歴史的大事業である6町合併により、対馬市が発足してから早くも10ヶ月が経過いたしました。

その間市民の皆様には、行政推進に特段のご指導、ご協力をいただきました事に心から厚くお礼を申し上げます。
昨今、国内外共に著しく変貌する社会情勢の中にあつて、我が対馬市もこれからは「自ら考え、自ら企画し、自ら行動する」いわゆる自主自立の時代を迎えており、今まさに

その真価が問われる時だと思われまふ。

三位一体の改革が推進される中、地方分権の推進による地方交付税制度の見直し等により、今後厳しい財政下による行政推進が強いられると推測されます。私達は今こそ我が対馬市のおかれた現状と未来についてしっかりと直視し、熟考し、行動して参らなければなりません。

我が市におきましても、若年層の島外流出並びに過度の少子化に伴う過疎化の進行と著しい高齢化の進行に伴い、活力の低下も懸念され、市政の発展を図るうえで大きな隘路となつております。

私達はこのような厳しい現状をなんとかしても克服し、豊かで活力のある市の実現を目指さなければなりません。そのためには恵まれた農林水

るところでございます。

今後の行政推進にあつては、今までの様な行政依存型ではなく、市民皆様お一人お一人に主役となつていただき、自分達の手でこの対馬を誇りとし、住む喜びを実感できる島にするという意識の改革こそ今要求されていることであり、市民全体の連帯と強調の確立こそが今後の対馬市の発展の原動力になると確信しております。

これから先、市政発展のため市民の皆様と一緒になつてお互いに知恵を出し合い諸問題の解決に取り組み、行政の安定と躍進の基礎作りを進めて参ります。美しく豊かな自然につつまれ、国際色あふれる文化と歴史をもつ対馬市の明日のため、市民皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が市民皆様にとつて素晴らしい年となりますようお祈り申し上げますと共に、ご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といた

17日「交通安全車両パレード
出発式

19～22日「全国離島振興協議
会理事会・各都道府県
離島関係合同会議・離
島振興関係予算要望活
動（東京）」

23日「防衛協会創立20周年記
念祝賀会
28日「仕事納め式

